

## 個人ワーク・グループワーク 検討結果

### 「ボランティアによる在宅高齢者の生活支援制度について」

項目	検討内容
事業名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あなたの生活支え隊</li> <li>・地域で元気に暮らし隊</li> <li>・地域で生き生き暮らし隊</li> <li>・いきいきサポーター養成事業</li> <li>・持続可能な生活サポート事業</li> <li>・いきいき応援団</li> <li>・お互い様～ず</li> <li>・ほっとサポート事業</li> <li>・ご近所お互い様サポート事業</li> <li>・いきいき生活応援サポート事業</li> <li>・〇〇生活サポート事業(〇〇をほうこく、ピオーネ、さんじゅーろー など)</li> <li>・生活支援応援事業</li> <li>・生活支援安心サポート事業</li> <li>・笑顔で在宅支え隊事業</li> <li>・生活支援さんじゅーろーサポーター事業</li> <li>・スマイルふれあい事業</li> <li>・お困りごと解決サポーター</li> <li>・高梁お互い様サポーター</li> <li>・高梁ありがとうサポーター</li> <li>・×梁を入れる</li> <li>・生活支援の言葉を入れた方がわかりやすい</li> </ul>
ボランティア 従事者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基準が高い。養成講座全科目受講は大変。オンラインでの講座やPVを見ることで受講したことにすればいい。</li> <li>・「高梁市在住」を外してもいい。在勤、在学も可とすればいい。</li> <li>・小学生などのジュニアサポーターの設定をしてもいい。</li> </ul>
利用対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要介護認定を受ける前から利用している人は、要介護になっても利用可としているが、要介護の人の外出支援は介助が必要となる。</li> <li>・妥当</li> </ul>
利用料金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安すぎて頼みにくい、反面毎週使うと高い。</li> <li>・回数が多い人は安くなるシステム。回数券購入で何枚かお得になるシステム。</li> <li>・300円/30分の他事務費を支払ってもらってもいい。</li> <li>・利用料金と活動費が同じで分かりやすい。</li> <li>・現金のやり取りはトラブルになるのでチケット制がいい。</li> <li>・支払いは口座引き落としがいい。</li> <li>・総合事業より割高だが、介護保険のヘルパーができないことも支援するという付加価値があるので300円/30分がいい。</li> </ul>
ボランティア活 動費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務費を100円引いてもいい。</li> </ul>

支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門チームをつくる。例えば大工OBなどで「生活環境コーディネーターチーム」をつくり、軽微な住宅改修。「おしゃれ支援チーム」は、ヘアメイク、服のコーディネートなどの活動。</li> <li>・ 外出支援は必要。</li> <li>・ シルバー人材センターの活動内容と重複する草取りなどは外してもいい。</li> <li>・ 見守り、話し相手は必要。</li> <li>・ ヘルパーができないことも支援できることをアピールする。</li> </ul>
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 養成講座に車の乗降支援内容を入れる。</li> <li>・ 既存のサービスとの区別がつくように広報を。</li> <li>・ 支援内容がイメージしやすいようにイラストややさしい日本語で広報を。</li> </ul>